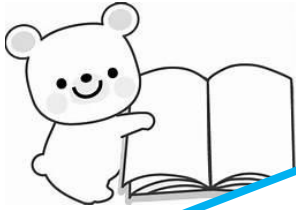




ほんじつ ほん ～本日のおすすめの本⑬～

かだいとしょ
課題図書



と ひゃっぽ 『飛ぶための百歩』

ジュゼッペ・フェスタ 作 岩崎書店 出版(2019年初版)
*この本は 9類の書棚にあります。(貸出可能)

ルーチョは目が見えない男の子です。でも、そのことで人に迷惑をかけたり、気をつかわせてしまうのがとてもいやでした。目が見えないからといって、特別扱いされたくないのです。運動も、音楽も、おしゃべりも、本を読むことも、山を歩くこともだいすきです。

ある日、ルーチョは叔母さんのベアと共に山をのぼります。



めざすは山小屋「百歩」。そこでのすてきな出会い。そして、思いもかけないことから、「鷺」のひなが飛び立つのを見に行くことになります。

でも、鷺のひなには、危険が迫っていました。密猟者たちが、鷺のひなを捕らえてお金もうけをしようとしていたのです。



目の見えないルーチョが、ひなが助かるために大活躍をします。

イタリアの大自然を舞台に、ちょっと風変わりな登場人物たちが、傷つき思いやり、成長していくすてきなおはなしです。読んだ後、大きな鷺が空を飛ぶ姿が目には浮かびますよ。また、山小屋「百歩」には、森の中の小さな「ヤマネ」という動物が大きく関係しています。ルーチョの心の成長を、自分の気持ちと対峙しながら読んでみましょう。

ねんせいだいしょう
5・6年生対象

かんそうぶんが書きやすい課題図書の一冊です。自分の経験や思いと比べながら感想文を書いてみませんか？